

# 茨大・みと再発見—地域国際ふれあいナビ from 茨大 プロジェクト（春・夏編）

地域交流

[ 代表者 ] 人文学部コミュニケーション学科 3 年

国際交流

菊池 麻衣子・横田 美濃

## [ 連携先 ]

水戸市民の

## [ 参加者 ]

菊池 麻衣子（人文学部・3 年）

横田 美濃（人文学部・3 年）

佐藤 麻里絵（人文学部・2 年）

水野 早織（人文学部・2 年）

Ngo Hang Van（人文科学研究科・M2）

Luu Nga Quynh（人文学部・日本語日本文化  
研修留学生）Pham Tran Ngoc Thu 人文学部・日本語日本文化  
研修留学生）

矢内 結香（学務部学務課教養教育係・係長）

杉本 妙子（人文学部・教授）

## [ プロジェクトの成果 ]

今回のこのプロジェクトは、平成 17 年度のプロジェクトとして採択していただいた「茨大・みと再発見—地域国際ふれあいナビ from 茨大プロジェクト（秋冬編）」を継続発展させたプロジェクトである。

今回の「茨大・みと再発見—地域国際ふれあいナビ from 茨大プロジェクト（春夏編）」では、①梅祭り、②桜祭り、③あじさい祭り、④黄門祭り、⑤灯籠流し（お盆）を中心に取材した。また、この5項目に加え、「水戸のオススメ散歩道」というページも設けた。今年度のプロジェクトは、昨年に引き続くものということで、昨年3月より梅祭り、桜祭りのレポートを進めていたということもあり、昨年より多くの取材を実施することができたと思う。梅祭りに関しては、偕楽園のみではなく、偕楽園の梅を扱う根元漬物屋への取材をはじめ、桜祭りでは桜の名所である六地藏へのイ

ンタビュー、また、あじさい祭りでは地元の方々へのインタビューも行っている。黄門祭りでは、実際に留学生の参加した様子をレポートし、灯籠流しでは伝統文化を守る「明るい社会づくりの会」の方にインタビューなど、多くの地域の声を取り入れることができたと思う。また、行事に参加した留学生に感想や思いを書いてもらうなど、外国人からの視点を取り入れた。外国語訳は、韓国人、中国人、ベトナム人留学生やメンバー知人の好意で行っていただいたため謝金の使用はなかった。

さらに、今回は編集協力を頼んでいたが、今回のプロジェクトでは、メンバー自身が編集ソフトを使用して、自分たちの手で冊子デザインを作り上げた。メンバーの半数以上が使用したことのないソフトであるため、その点で手間取り、予想以上の時間を費やしたため、複数の外国語訳をつけられない部分もあったが、自分たちの手で作り上げた充実した冊子を作ることができたと思う。冊子は今月中に刷り上げる予定であるので、昨年配布して好評をいただいている茨城県国際交流協会、水戸市国際交流センター、まちかど交流室、水戸市内の日本語教育関連のボランティア団体、県立図書館、市立図書館等に改めて送付したり、活用したりしていただく予定である。

今回、これらの活動を通して、昨年に引き続き多くの方々と交流する機会を得た。留学生や地域の方々や行事に携わる人々、作り上げていく人々の思いを聞き、伝えることで、これらの活動や冊子を機会に、国際交流と地域連携がより促進されていくことを期待する。